

門司図書館及び戸畑図書館の指定管理者の募集について

教育委員会中央図書館運営企画課

1 対象施設

- (1) 北九州市立門司図書館（大里分館、新門司分館含む）
- (2) 北九州市立戸畑図書館

※設置目的：図書、記録その他必要な資料を収集、整理、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする。（図書館法第2条）

2 指定期間

- (1) 北九州市立門司図書館 令和5年4月1日～令和9年3月31日（4年間）の予定
- (2) 北九州市立戸畑図書館 令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）の予定

3 指定管理者が行う業務

- (1) 教育委員会が定める図書館管理業務
 - ① マネジメント業務、窓口業務、蔵書管理業務、選書業務
 - ② 庶務関係業務（経理、人事、広報等を含む）
 - ③ 読書奨励事業、複写サービス、文庫管理、分館管理（門司図書館）
 - ④ 施設管理業務（駐車場、館内カフェの運営（戸畑図書館）を含む）
 - ⑤ 図書館職員の人材育成にかかる研修等
 - ⑥ 地域のボランティア団体等への活動支援（読み聞かせボランティアの育成・活用、連携事業の実施等）
 - ⑦ 地元自治体や幼稚園、小学校・中学校、障害者団体等との連携（地域行事への協力等）
- (2) 自主事業（募集時の提案内容に基づくもの）

これからの図書館サービスのあり方（答申）を踏まえ、子ども読書活動推進計画及び読書バリアフリー法に対する提案

4 応募資格

- (1) 団体（法人格は必ずしも必要なし。なお個人による応募は不可。）
- (2) 本社、本店又は主たる営業所・事務所等を、事故など緊急な対応を要する事態が発生した場合に、迅速に対応できる場所に有するもの。
- (3) 募集説明会に参加していること（共同事業体で応募する際は、代表団体は募集説明会に参加していること。）

- (4) 共同事業体を構成する場合は、競争性を確保した上で、本市経済の振興と地元団体の育成を図る観点から、可能な限り地元団体を構成員とするよう努め、最低1団体は地元団体とすること。

5 募集方法

- (1) 北九州市立門司図書館・・・企画提案競技（コンペ）方式
(2) 北九州市立戸畑図書館・・・企画提案競技（コンペ）方式

6 事業者選定のスケジュール（予定）

- (1) 募集の公告 令和4年 7月 1日予定（一括公告・総務局行政経営課）
(2) 募集要項配布 令和4年 7月14日（木）～ 7月29日（金）
(3) 募集説明会 令和4年 8月 2日（火）
(4) 申請書等の受付 令和4年 7月29日（金）～ 9月15日（木）
(5) 検討会 令和4年 9月下旬～10月上旬
(6) 選考結果の報告 令和4年10月中旬
(7) 議会承認 令和4年12月議会
(8) 協定締結 令和5年 4月 1日（土）

※総務局及び教育委員会ホームページ、市政だより等による広報も随時行う。

7 指定管理者導入状況

(1) 門司図書館【募集対象】

- ア 指定期間 1期 平成17年4月1日～平成20年3月31日（3年間）
2期 平成20年4月1日～平成25年3月31日（5年間）
3期 平成25年4月1日～平成30年3月31日（5年間）
4期 平成30年4月1日～令和 5年3月31日（5年間）
イ 指定管理者 1期、2期 株式会社図書館流通センター
3期、4期 株式会社日本施設協会
ウ 管理の状況

読書奨励等に関する業務では、本市の「これからの図書館のあり方」や「子ども読書プラン」の施策や考え方を念頭に、読書会や講座、読み聞かせ会、ブックリサイクル等を企画・運営し、地域との連携・協力にも積極的に取り組んでいたが、門司区の人口減少と少子高齢化の進展に加え、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館等の影響もあり、貸出者数・貸出冊数共に目標値に達していない。

また、職員の資質・能力向上を図る取り組みについては、コロナ禍の状況にありながらも様々な研修参加や情報化時代に即応した ZOOM などの新たな研修手法を積極的に導入しながら、業務の効率化を実現し、経費の低減も図られた。

例年実施している利用者アンケートにおいても、継続して高い評価を得ており、良好な管理運営が行われていると判断されるが、安全対策の面では組織として引

き継ぎが徹底されていない事案が複数発生する等、改善を要する点もあった。

(2) 戸畑図書館【募集対象】

- ア 指定期間 1期 平成17年4月1日～平成20年3月31日（3年間）
 2期 平成20年4月1日～平成25年3月31日（5年間）
 3期 平成25年4月1日～平成30年3月31日（5年間）
 4期 平成30年4月1日～令和 5年3月31日（5年間）
- イ 指定管理者 1期～4期 株式会社日本施設協会
- ウ 管理の状況

読書奨励等に関する業務では、本市の「これからの図書館のあり方」や「子ども読書プラン」の施策や考え方を念頭に、読書会や講座、読み聞かせ会、ブックリサイクル等を企画・運営し、地域との連携・協力にも積極的に取り組んでいたが、新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館等の影響もあり、貸出者数・貸出冊数共に目標値に達していない。

また、職員の資質・能力向上を図る取り組みについては、コロナ禍の状況にありながらも様々な研修参加や情報化時代に即応した ZOOM などの新たな研修手法を積極的に導入しながら、業務の効率化を実現し、経費の低減も図られた。

例年実施している利用者アンケートにおいても、継続して高い評価を得ており、良好な管理運営が行われていると判断される。